

AVIC-XC520 AVIC-XM520

取付説明書

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99J00F0A01 > < CRA2950-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ
製品の配置を考える ————— 4ページ

② 接続する

接続の前に知ってほしいこと ——— 5ページ
接続端子のなまえと働き ————— 7ページ
システムの接続 ————— 8ページ
電源の接続（1） ————— 10ページ
電源の接続（2） ————— 12ページ
スピーカーの接続 ————— 14ページ
外部機器の接続 ————— 15ページ
VICS/D-GPS/FM多重アンテナの接続 — 16ページ

③ 取り付ける

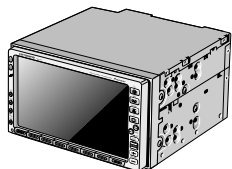
取り付けの前に知ってほしいこと — 18ページ
リモコンの取り付け ————— 19ページ
ナビゲーション本体の取り付け — 22ページ
GPSアンテナの取り付け ————— 24ページ
TVアンテナの取り付け ————— 26ページ
マイクの取り付け ————— 36ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

ナビゲーション接続の確認と
初期設定、動作確認を行う — 38ページ
カーナビゲーションを
使い始める前に ————— 42ページ

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



① AV一体型ボイスコントロールCD-ROMナビゲーション × 1



② パインドネジ (5 × 8 mm) × 8



③ 皿ネジ (5 × 9 mm) × 6

GPS アンテナ関係



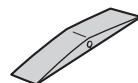
④ GPSアンテナ × 1



⑤ 金属シート × 1



⑥ クランパー × 5

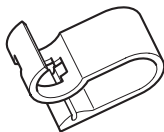


⑦ 防水パッド × 1

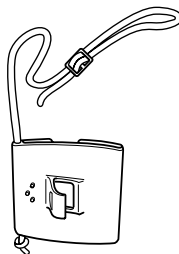
マイク関係



⑧ マイク × 1



⑨ マイククリップ × 1



⑩ マイクホルダー × 1



⑪ 両面テープ (20 × 16 mm) × 1



⑫ クランパー × 5

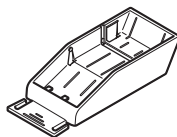
リモコン関係



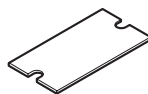
⑬ リモコン × 1



⑭ 単4形アルカリ
乾電池 (LR03) × 2



⑮ リモコン
ホルダー × 1

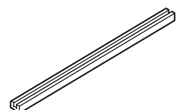


⑯ 両面テープ
(57 × 34 mm) × 1

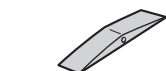
TV アンテナ関係



⑰ TV アンテナ
右用・左用 各 1



⑲ コードレール × 4



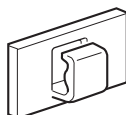
⑳ 防水パッド × 2



㉑ エレメント固定
ホルダー × 4



⑲ クリーナークロス
× 1



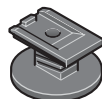
㉒ クランパー × 6



㉓ 両面テープ
(25 × 80 mm) × 2



㉔ 透明シート × 2

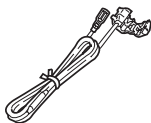


㉕ 車室内取付用
アンテナベース × 2

コード関係



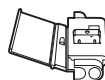
⑲ 電源コード × 1



㉖ 紫/白リード線
延長コード (5 m) × 1



㉗ ピンクリード線
延長コード (5 m) × 1

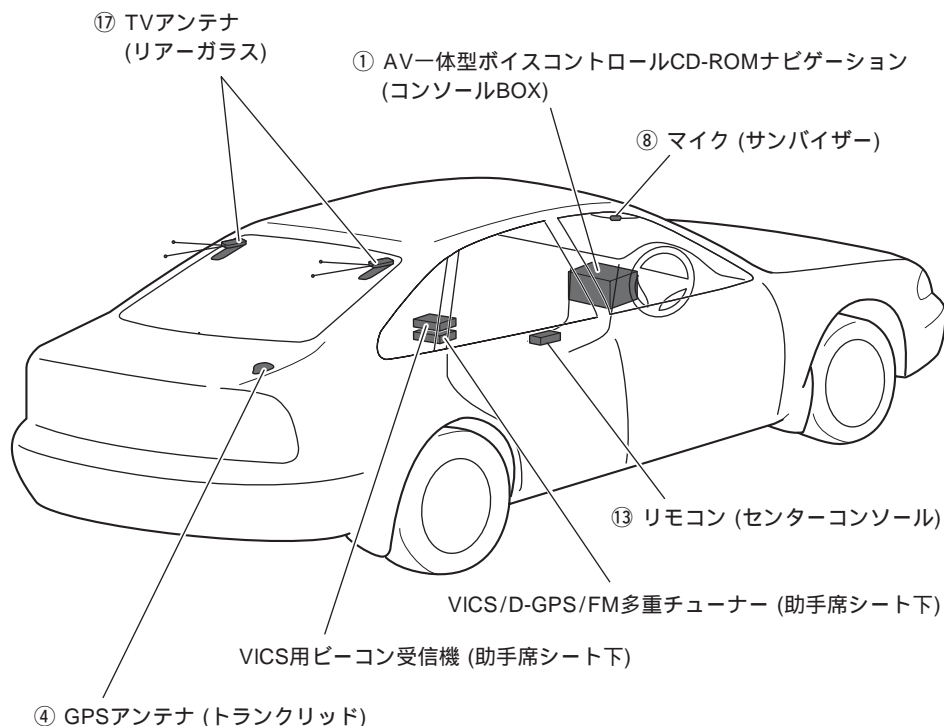


㉘ Uエレメント
コネクター × 1

製品の配置を考える

下図は、別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。(数字が付いている製品が本機の構成です。)

実際は、組み合わせた製品と、ご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



メモ

配置場所によっては、別売の延長ケーブルや取付キットが必要になることがあります。

本機と他のナビゲーションシステム (GPS受信機) を同時に使用すると、本機のGPS受信性能に悪影響が出るおそれがあります。同時に使用しないでください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機にはEIAJコードカラーに対応する変更を行いました。対応に伴い、本機では次のコードカラーも従来までのコードカラーから変更されています。

ビーコンコントロール：青 青/白
本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

黒リード線（アース）はパワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースと別々に取り付けて下さい。まとめて取り付けますと、ねじが外れたり緩んだとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力35W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4から8のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発煙・発火・破損の原因となります。

ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

IP-BUSの接続について

IP-BUS端子とIP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクタの接続部分が色分けされています。）

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。いっしょに束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM多重アンテナおよびそのアンテナコード

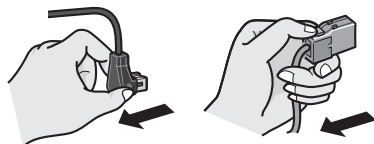
接続の前に知ってほしいこと

つづき

コネクターの着脱のしかた

コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、向きが間違っている可能性がありますので、コネクターの接続する向きを確認してください。また無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

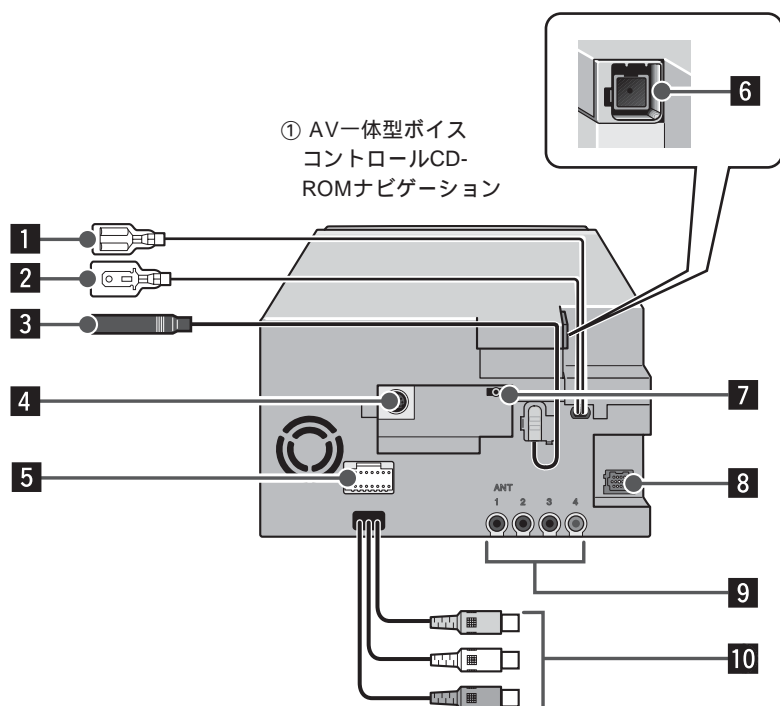


ピンクリード線と紫/白リード線の接続について

ピンクリード線（車速信号入力）と紫/白リード線（バック信号入力）は、内蔵のジャイロセンサー用のリード線です。必ず接続してください。

ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）をお使いください。

接続端子のなまえと働き



1 オートアンテナ端子 (青)

10ページをご覧ください。

2 ミュート端子 (黄/黒)

10ページをご覧ください。

3 FM/AM アンテナ接続端子

ラジオを聞くために、車載アンテナと接続します。

4 FM 多重チューナー接続端子

別売のVICS/D-GPS/FM 多重チューナー (例: 「ND-F3」) を接続します。

(16ページ)

5 電源

付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。

6 GPS アンテナ接続端子

付属のGPSアンテナを接続します。

7 マイク入力端子

付属のマイクを接続します。

8 IP-BUS 入力 (青)

別売のIP-BUS出力のある製品 (例: マルチCDプレーヤー「CDX-P1250」) を接続します。

9 TV アンテナ接続端子 1 ~ 4

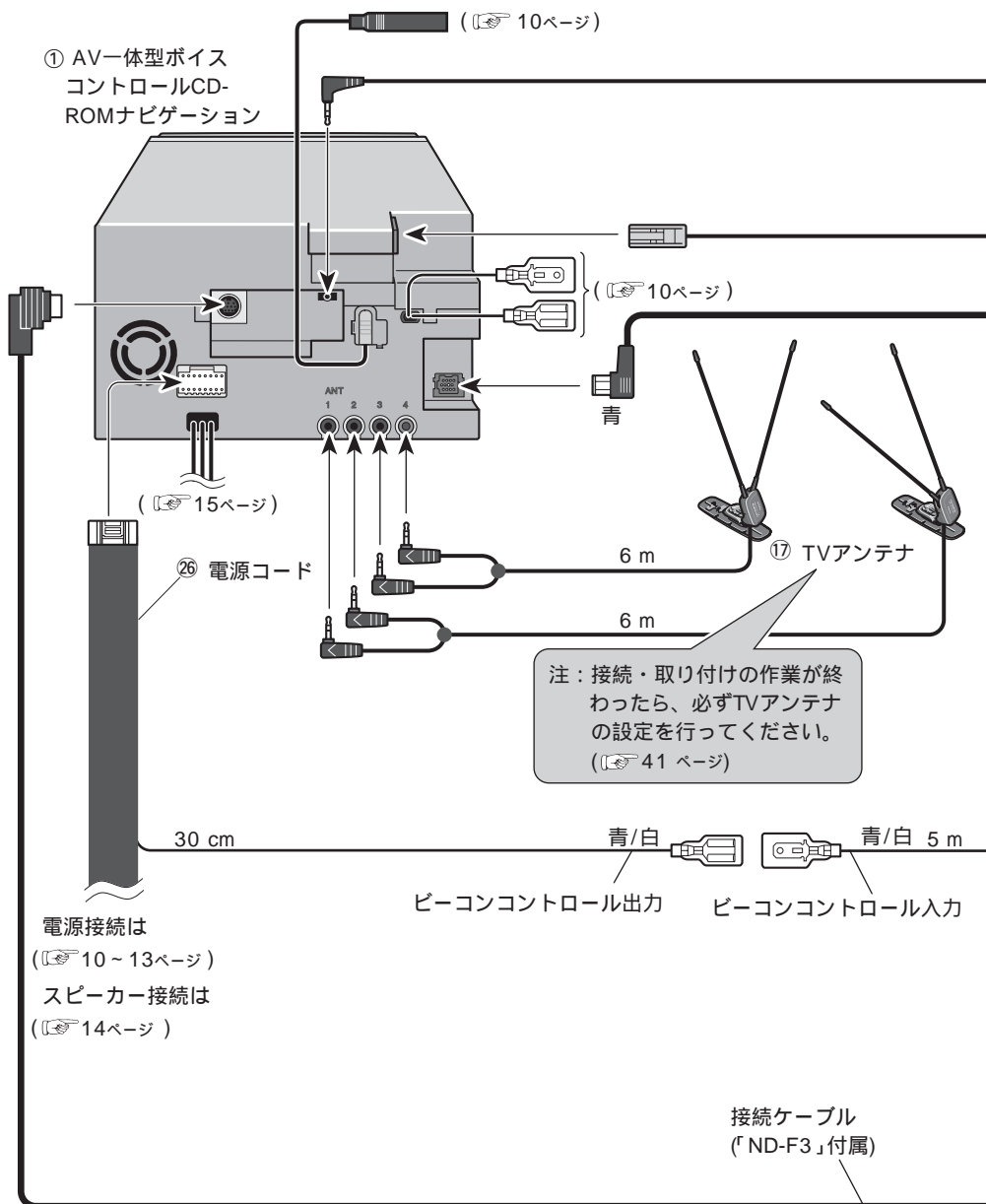
付属のTVアンテナを接続します。
1から順に接続してください。

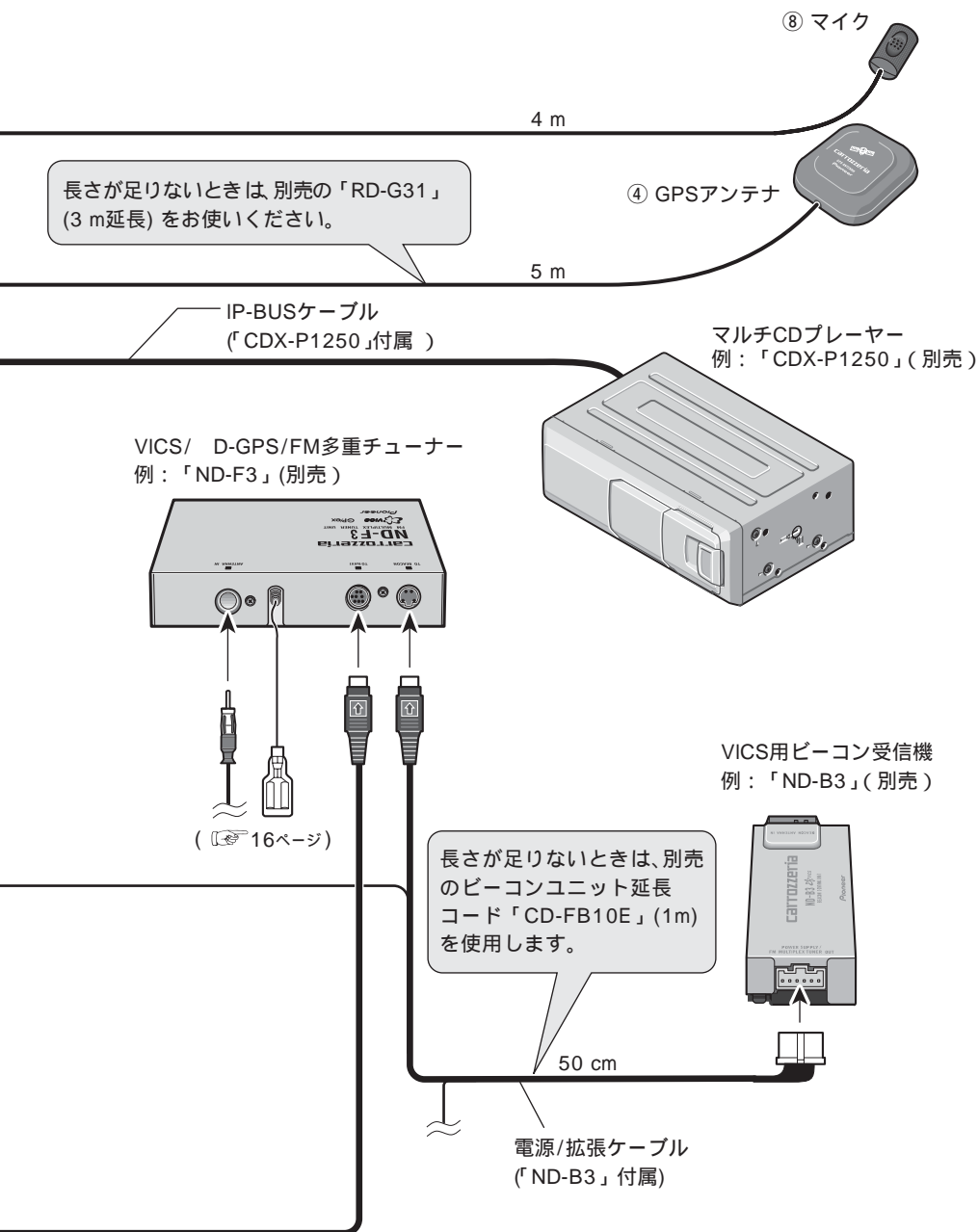
10 RCA ビデオ入力 (黄)

RCA オーディオ入力 (白・赤)
8mm ビデオやポータブルビデオなどを接続することができます。

システムの接続

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --





電源の接続 (1)

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

- ① AV一体型ボイス
コントロールCD-
ROMナビゲーション

カーアンテナプラグ
(車のアンテナより)

VICS/D-GPS/ FM多重チューナー
(例: ND-F3) を接続しない場合は、
直接本機のアンテナジャックに
接続して下さい。
(VICS/D-GPS/FM多重チューナー
を接続する場合は 16、17ページ)

- ② 電源コード

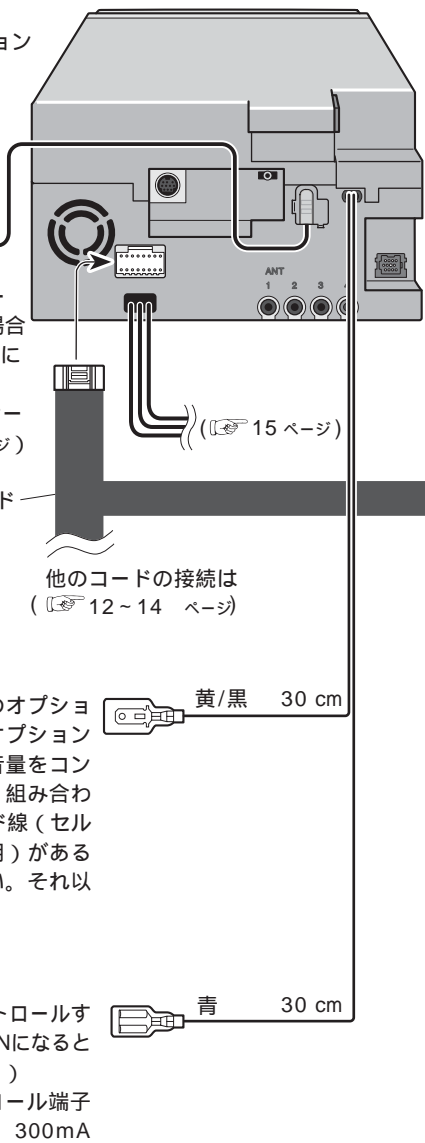
他のコードの接続は
(12 ~ 14 ページ)

ミュート

パイオニア製の自動車電話などのオプション製品と組み合わせるときに、オプション製品からの信号によって本機の音量をコントロールするために使用します。組み合わせたオプション製品に黄/黒リード線(セルラーミュート用またはミュート用)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

オートアンテナ

オートアンテナのON/OFFをコントロールするために使用します。(ラジオがONになるとコントロール信号が出力されます。)
車側のオートアンテナのコントロール端子に接続してください。(12V DC、300mA以内でご使用ください。)また、ガラスアンテナ車の場合は、アンテナプースターの電源端子に接続してください。上記以外は、何も接続しないでください。



黄/黒 30 cm

青 30 cm

パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

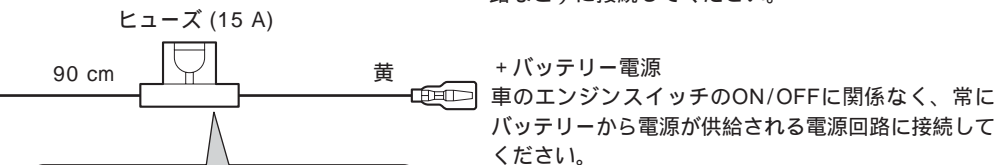
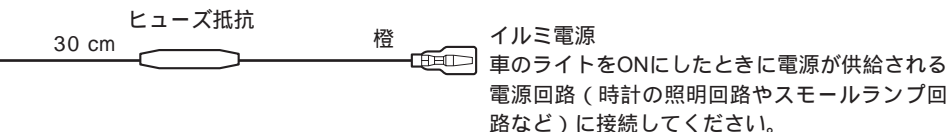
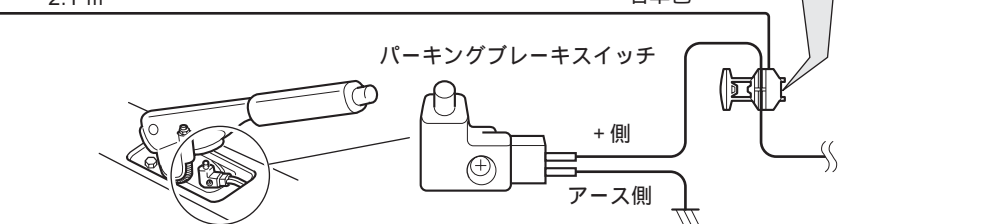
パーキングブレーキスイッチ
車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

接続方法

パーキングブレーキスイッチの+側リード線をはさみ込む。 → ラジオアンテナの+側を強くはさむ。

2.1 m

若草色



注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

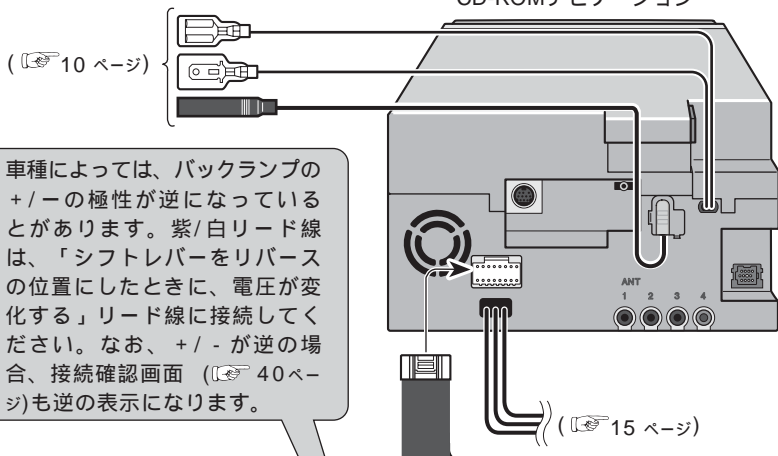
注：赤、橙、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



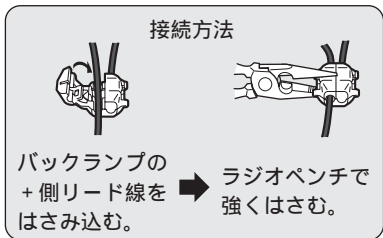
電源の接続 (2)

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

① AV一体型ボイスコントロール
CD-ROMナビゲーション



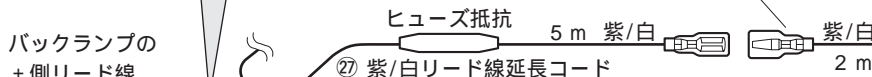
注：車種によっては、バックランプの+/-の極性が逆になっていることがあります。紫/白リード線は、「シフトレバーをリバースの位置にしたときに、電圧が変化する」リード線に接続してください。なお、+/-が逆の場合、接続確認画面 (☞ 40 ページ) も逆の表示になります。



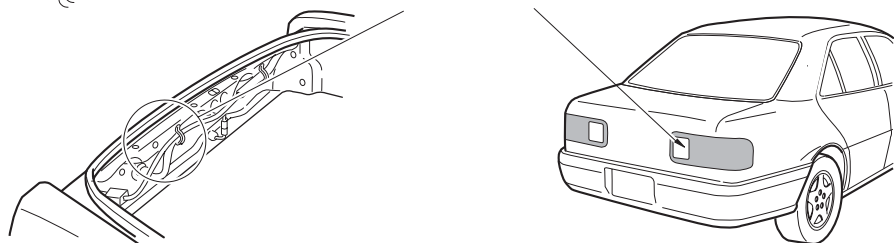
②⑥ 電源コード

バック信号入力
車の前進/後退を判断するために使用します。必ずバックランプの+側リード線に接続してください。

他のコードの接続は (☞ 10~14 ページ)

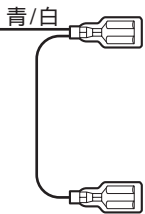


バックランプ(シフトレバーがリバース[R]のときに点灯するランプ)の位置を確認し、トランク内から、バックランプの+側リード線を取り出します。



30 cm

30 cm



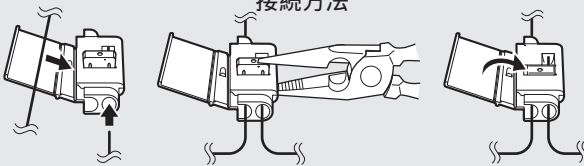
ビーコンコントロール出力

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」または「ND-B2」(別売)と組み合わせるときに使用します。「ND-B3」または「ND-B2」のビーコンコントロール入力端子に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。(本機と「ND-B1」と組み合わせるときは、この端子は使用しません。)

システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。(12VDC、300mA以内でご使用ください。)

接続方法



延長コードと車速検出回路のリード線を穴に通す。

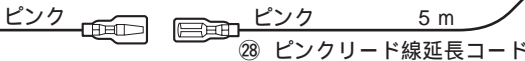
ラジオペンチで強くはさむ。

ふたをかぶせる。

車のインジェクションコンピューター

インジェクションコンピューターの車速検出回路の位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

車速検出回路のリード線



29 Uエレメントコネクター

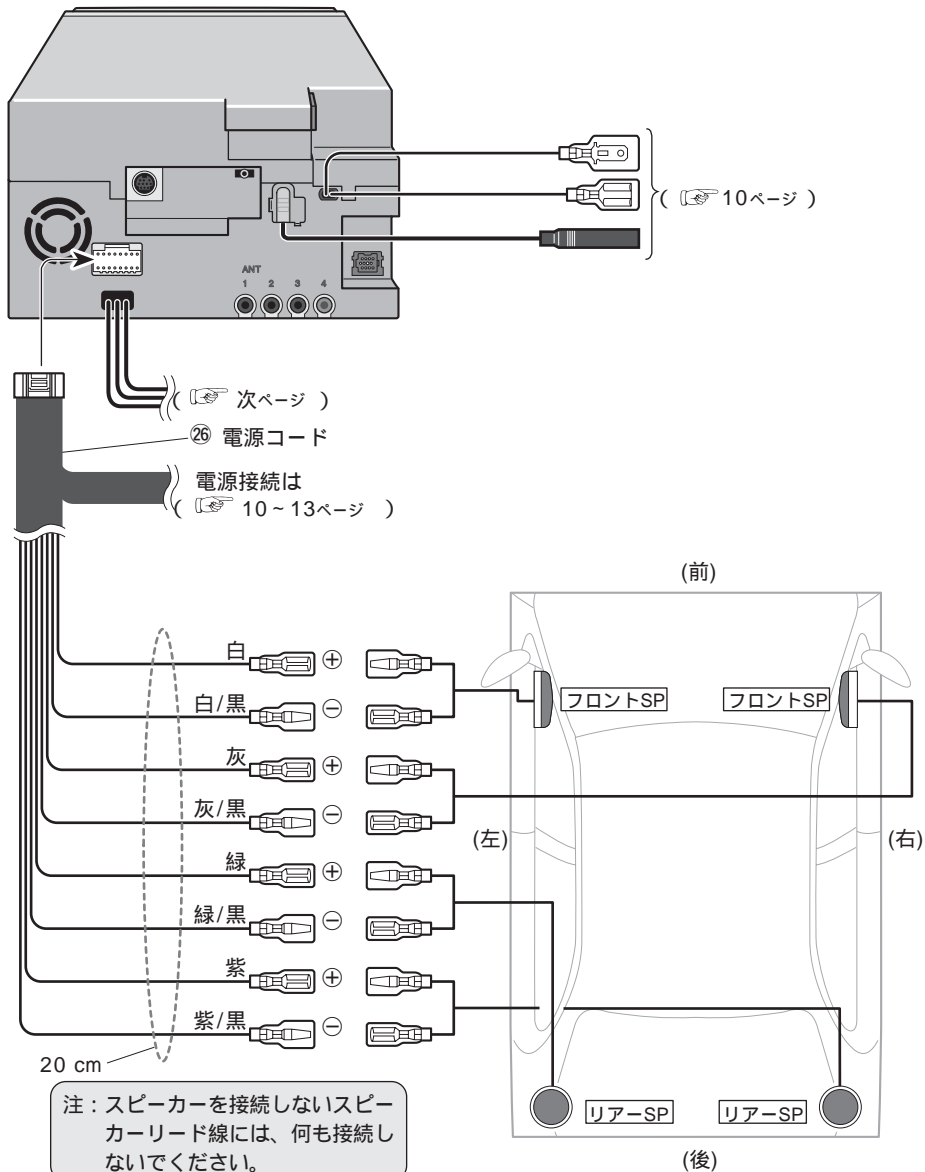
車速信号入力

車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生器「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

スピーカーの接続

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

① AV一体型ボイスコントロール CD-ROMナビゲーション



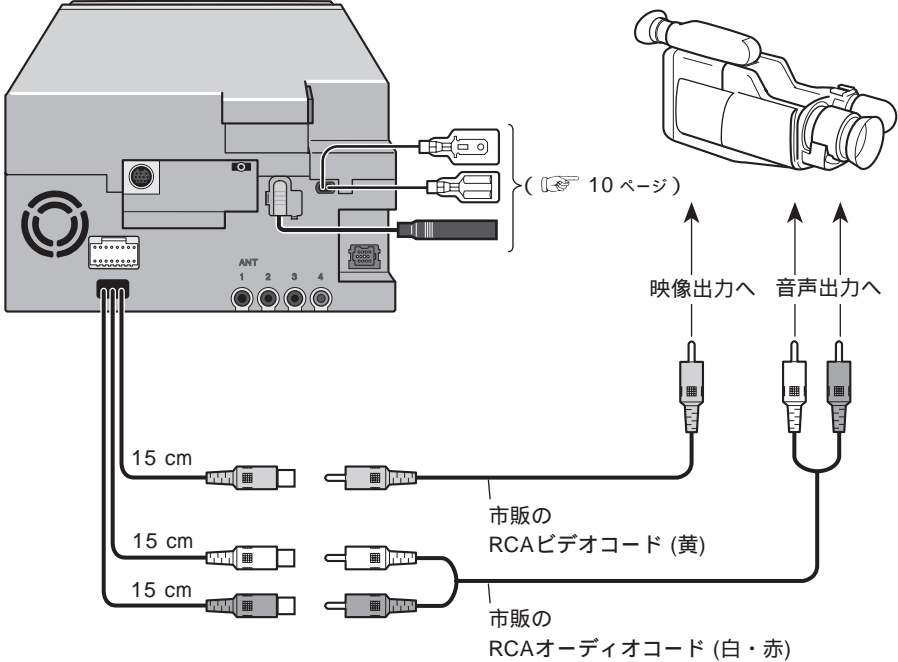


外部機器の接続

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

① AV一体型ボイスコントロール CD-ROMナビゲーション

8 mm ビデオやポータブルビデオ



接続のしかた

VICS/D-GPS/FM 多重アンテナ

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

接続のポイントと接続上のご注意

別売のVICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」を組み合わせた場合、図中の2つの方法か、または「AN-F10」(別売)を接続する方法(☞「ND-F3」の取扱説明書)で、必ずアンテナを接続してください。

電波の弱い地域(首都圏中心部以外の地域)では、FM多重用には、専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続するか、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続してください。

(なお、付属のTVアンテナは4素子ともテレビ用として使用してください。)

車載のアンテナがガラスアンテナの場合は、車載アンテナでは十分な受信感度が得られないことがあります。できるだけ専用のアンテナを接続することをおすすめします。

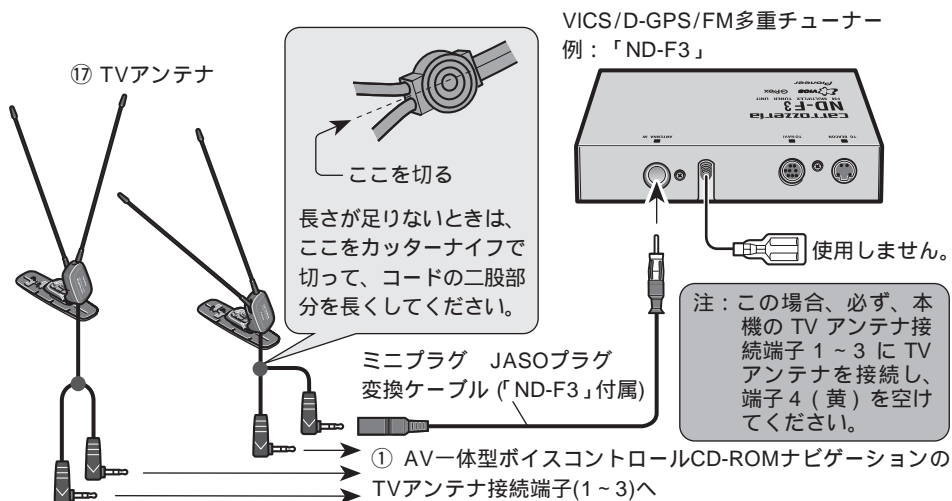
付属のTVアンテナを車室内に取り付けた場合や、別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は、FM多重用には使用できません。接続しないでください。

電波の強い地域(首都圏中心部)では、付属のTVアンテナを車室外に取り付けた場合に限って、TVアンテナの1素子をFM多重用として使用することもできます。この場合、必ず、ナビゲーション本体のTVアンテナ接続端子1~3にTVアンテナを接続し、端子4を空けてください。また、TVアンテナの設定を切り換えてください。(☞41ページ)

電波の弱い地域で、付属のTVアンテナの1素子をFM多重用として使用すると、FM多重放送やテレビを感度良く受信できない場合があります。

TVアンテナを接続する方法

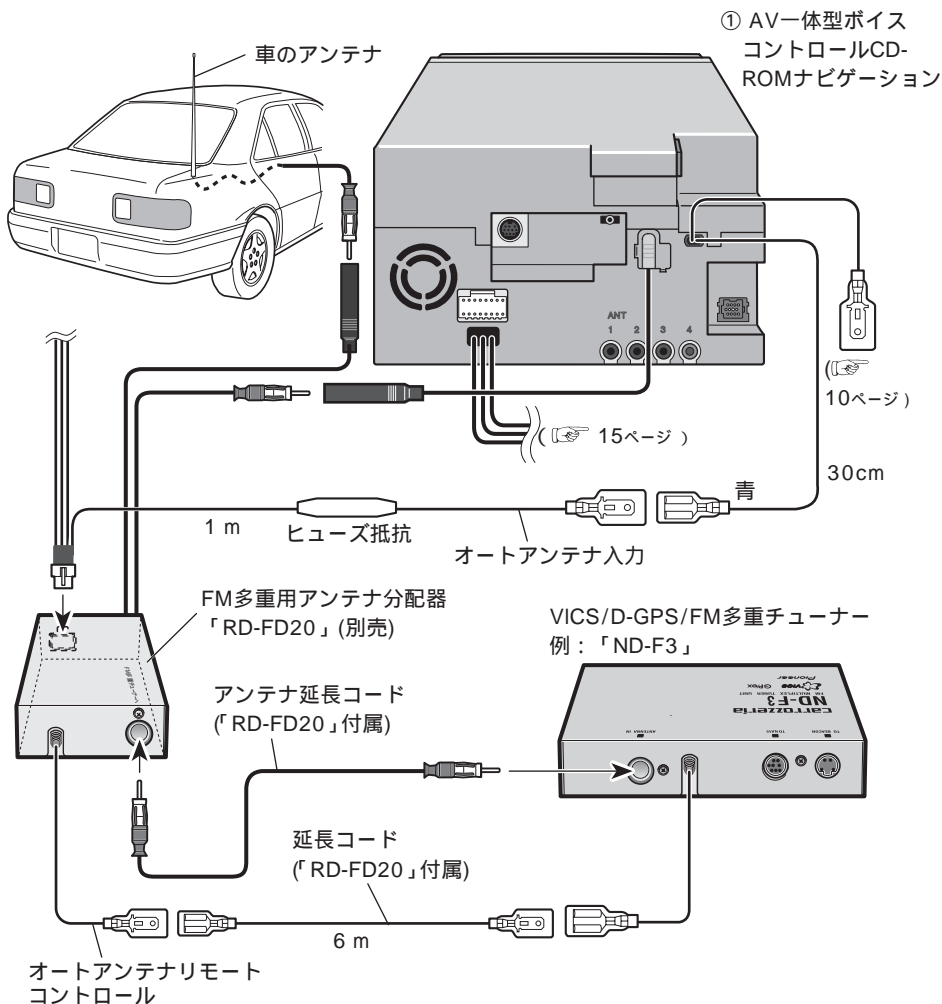
電波の強い地域では、付属のTVアンテナの1素子を接続することもできます。(付属のTVアンテナを車室外に取り付けた場合に限ります。)



の接続

車載アンテナを接続する方法

FM 多重用アンテナ分配器「RD-FD20」（別売）を使用して車載のアンテナを接続します。



取り付けの前に知ってほしいこと

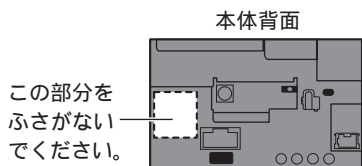
取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

アンプの放熱を妨げないために

コード類は、下図の部分をふさがないように配置してください。



粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるときは、汚れをよくふきとってください。

取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意してありますので、販売店にご相談ください。

日産車に取り付ける場合、車種や年式によって別売の日産車用化粧パネル「ADT-N979」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。それぞれのアンテナコードどうしでもできるだけ離してください。いっしょに束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

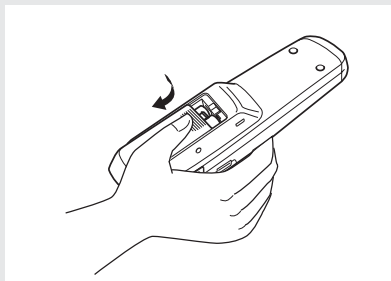
- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM多重アンテナおよびそのアンテナコード

リモコンの取り付け

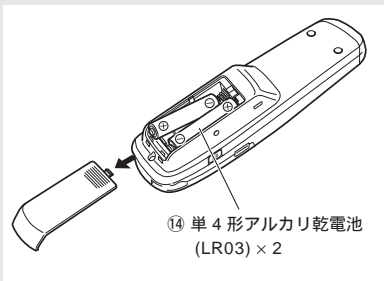
電池の入れかた

裏ブタを外して、単4形アルカリ乾電池 (LR03) 2本をセットします。

リモコンの電池のふたを開けるには、ふたを押しひいてください。



リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。



取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

電池を交換するときは、電池寿命の点から、アルカリ電池を使用することをおすすめします。

リモコンの取り付け

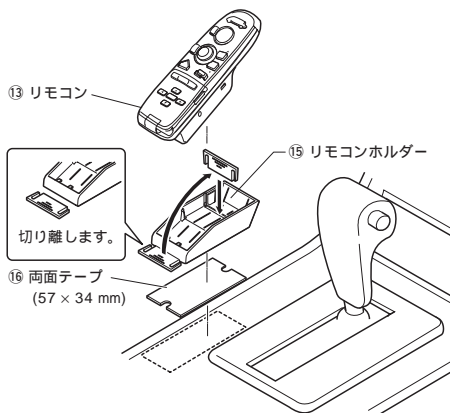
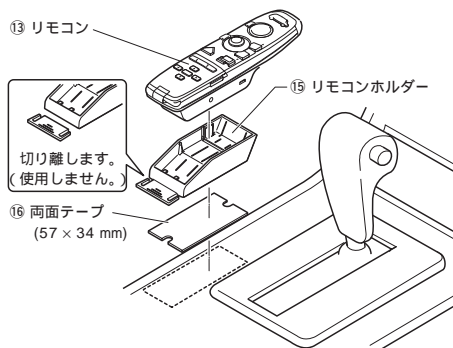
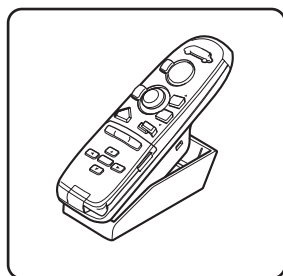
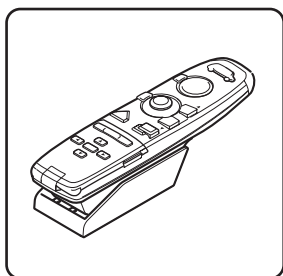
つづき

両面テープで取り付ける場合

付属の両面テープ (57 × 34 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。

水平にセットする場合

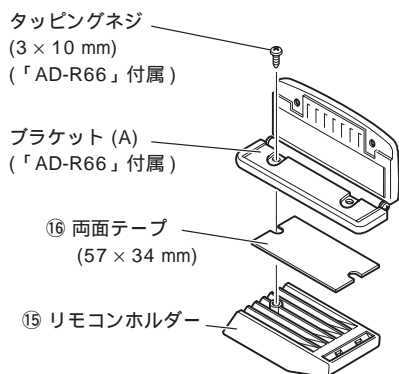
上向きにセットする場合



別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

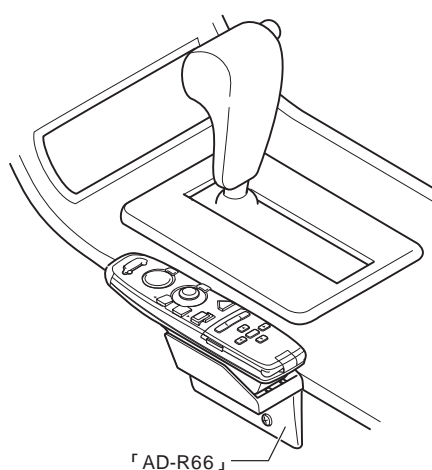
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) にリモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を車に取り付ける

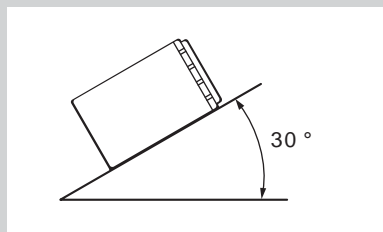
「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

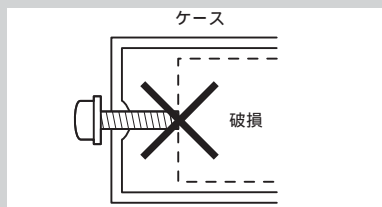
本体の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



本体を取り付けるとき、フロントパネルに強い力を加えないでください。フロントパネルに強い力が加わると故障することがあります。

車種によっては、フロントパネルを開けたときに、車のシフトレバーに当たってしまうことがあります。

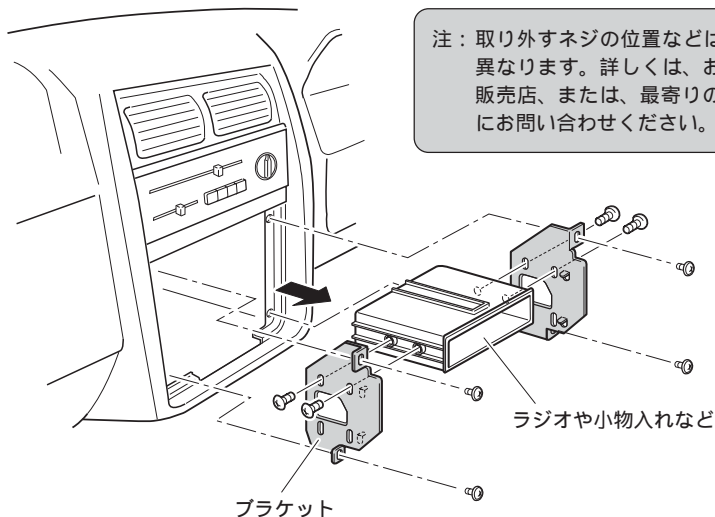
必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



取り付け例 (トヨタ車、日産車への取り付け)

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本体を取り付けます。

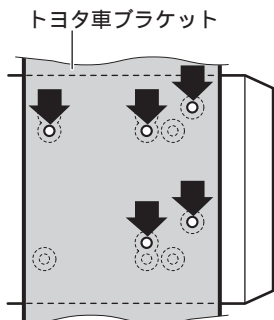


注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

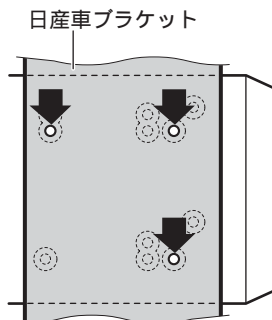
2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本体に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。
ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

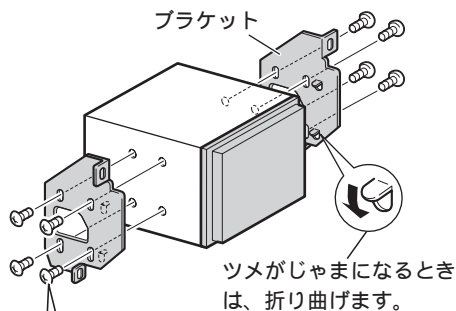




日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ4カ所（または3カ所）ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



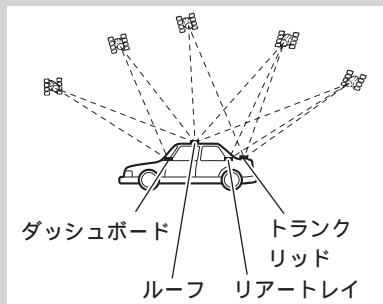
- | | |
|---|--|
|  ② バインドネジ
(5 × 8 mm)
× 8 |  ③ 皿ネジ
(5 × 9 mm)
× 6 |
|---|--|

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

GPS アンテナの取り付け

取り付け上のご注意

GPS アンテナは、GPS 衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。

GPS アンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

GPS アンテナは、ナビゲーション本体から30cm以上離して設置してください。また、あまったGPSアンテナコードをまとめて置くとともに、ナビゲーション本体から30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。

GPS アンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。

GPS アンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。

GPS アンテナを車外に取り付けた場合、自動洗濯機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

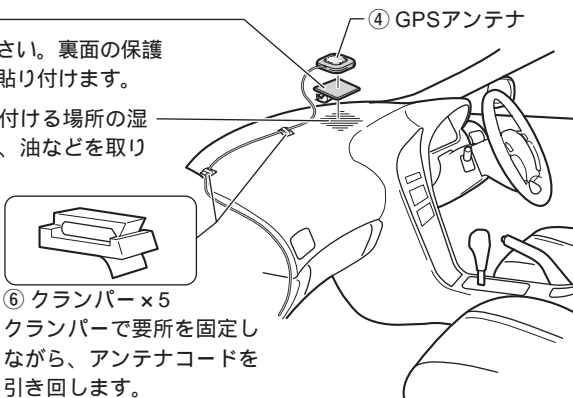
車内(ダッシュボードやリアートレイの上)に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPS アンテナを金属シートの上に置きます。(GPS アンテナの磁石で固定されます。)

⑤ 金属シート

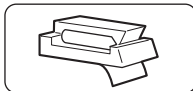
必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。

金属シートを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



メモ

車のウィンドガラスの一部に、GPS 衛星の電波を通さないものがあります。GPS アンテナを車内に取り付けたときに、GPS 衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。



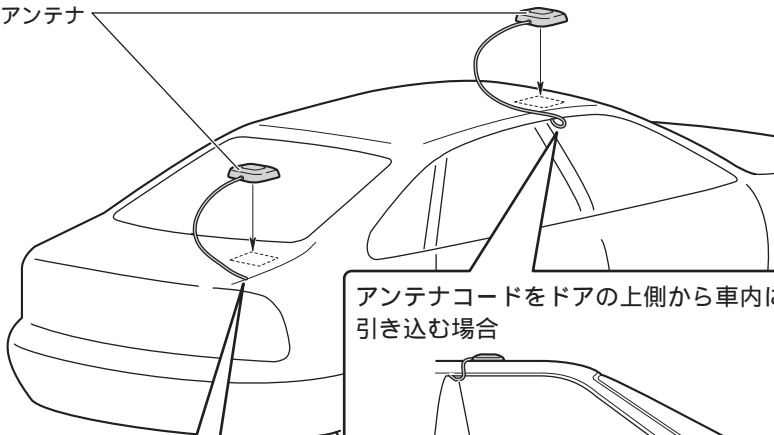
⑥ クランパー×5

クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

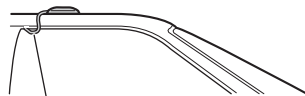
車外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

④ GPSアンテナ



アンテナコードをドアの上側から車内に引き込む場合



雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードを外側でU字形に曲げます。



⑥ クランパー×5

クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

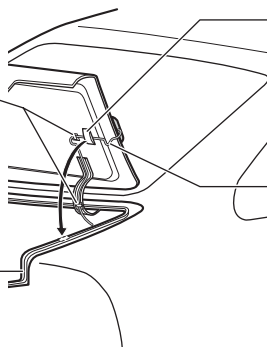
アンテナコードをトランク内に引き込む場合



⑥ クランパー×5

クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



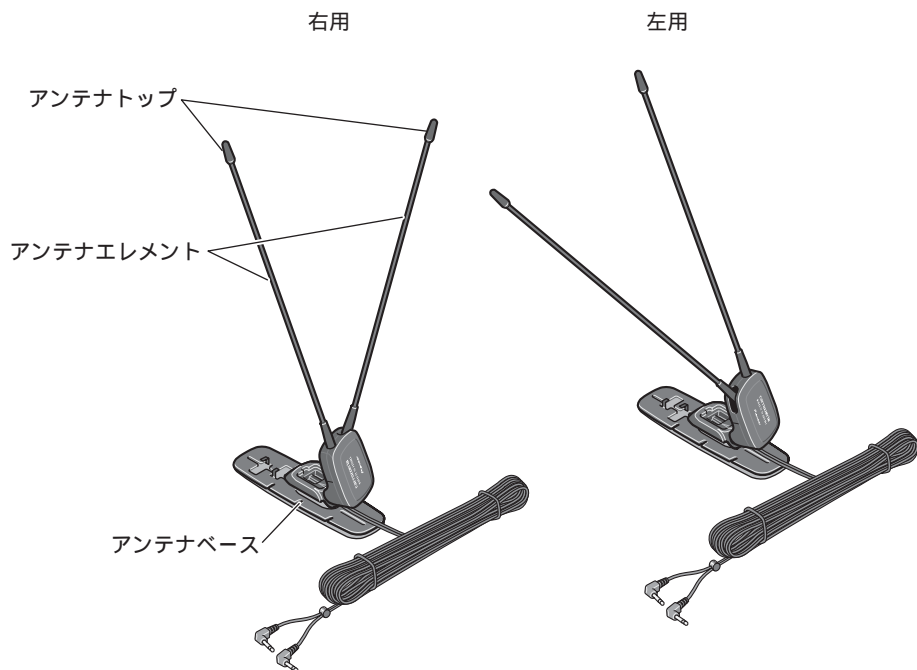
⑦ 防水パッド

トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

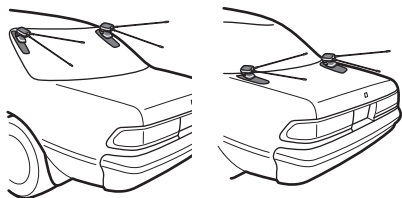
TV アンテナの取り付け

各部のなまえ

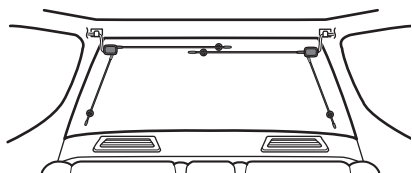


取り付け場所について

アンテナを車室外に取り付けるときは、リアーガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



アンテナを車室内に取り付けるときは、リアーガラスに両面テープで貼り付けます。



ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。

アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーの車室外のリアーガラスには、絶対に貼り付けしないでください。

1ボックスカー 2ボックスカー



取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

確実に貼り付けるため、取り付けは、天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

気温が低いときにリアーガラスに取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアーデフォガススイッチをONにして暖めておいてください(20℃以上)。

リアーガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。(リアーガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は、指で触ったり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当てないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

TV アンテナの取り付け

つづき

リアーガラスの取り付けかた

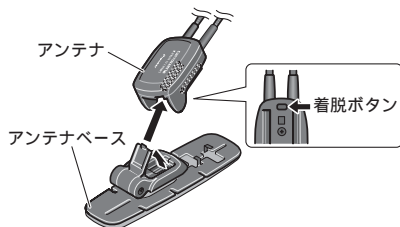
トランクを開けたときに、トランクがアンテナのエレメントに当たらない位置 (できるだけ高い位置) に取り付けてください。

リアーワイパーの可動範囲を確認し、リアーワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けしないでください。

1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。

(👉 35ページ)



2 アンテナを貼り付ける位置を決める

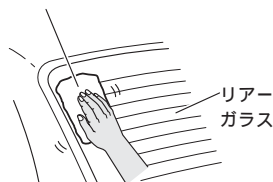
アンテナベースを、裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面に、できるだけすき間のできない位置をさがします。



3 クリーナークロスで、汚れ、油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

⑱ クリーナークロス



4 気温が低い時はリアーガラスを暖める

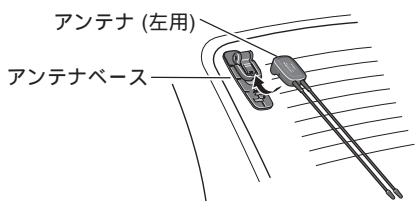
接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアーデフォガススイッチをONにして、リアーガラスを20℃以上に暖めます。

5 アンテナベースをリアーガラスに貼り付ける

裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。

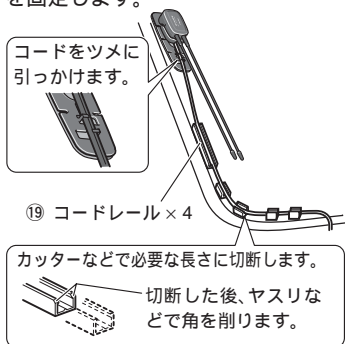


6 アンテナを取り付ける(👉 35 ページ)



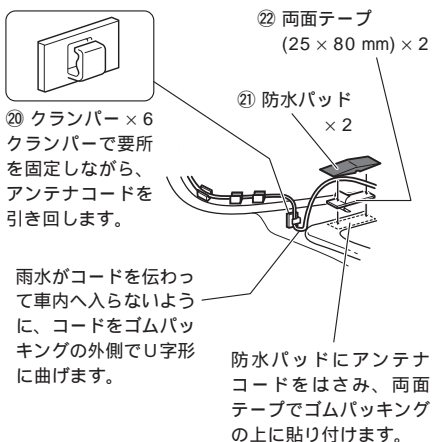
7 アンテナコードを固定する

付属のコードレールをリアーガラスに貼り付け、コードを固定します。



8 アンテナコードを車内に引き込む

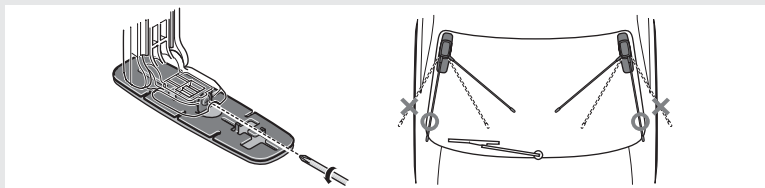
付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。



取り付けた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのぼしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースのネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TV アンテナの取り付け

つづき

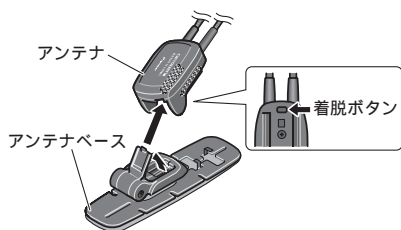
トランクリッド（車室外）への取り付けかた

トランクリッドに取り付けるときは、トランクを開けたときに、アンテナがリアガラスに当たらない位置に取り付けてください。

フッ素樹脂処理および再塗装された車のボディには貼り付けられません。

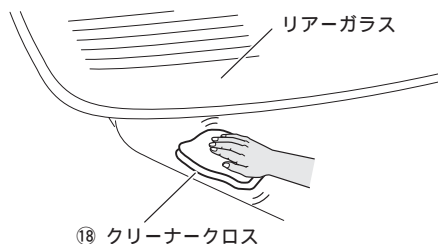
1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。
 (☞ 35ページ)



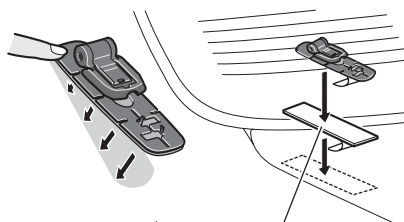
2 クリーナークロスで、汚れ油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

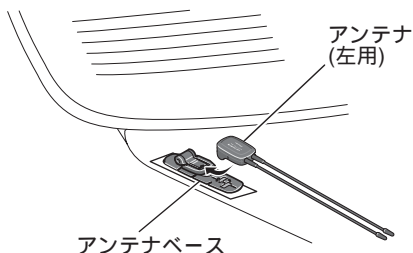
- ① 透明シートをトランクリッドに貼り付けます。
- ② 透明シートにアンテナベースを貼り付けます。



⑲ 透明シート×2

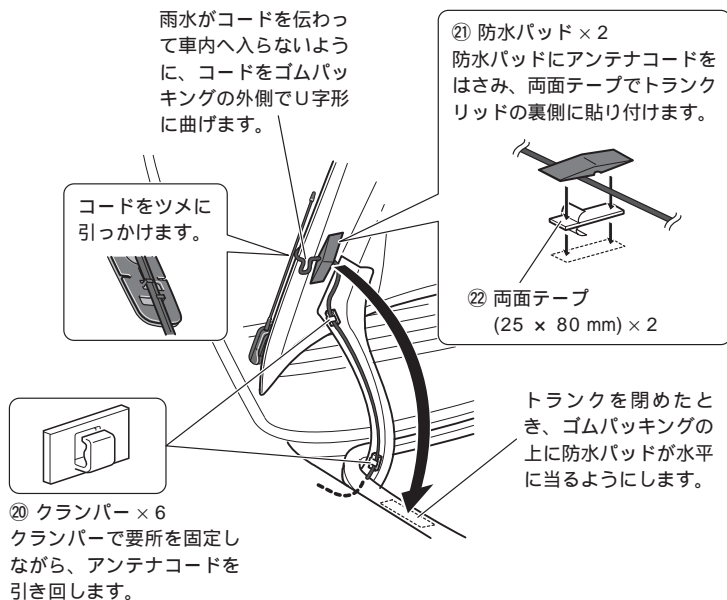
トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

4 アンテナを取り付ける (☞ 35ページ)



5 アンテナコードを 車内に引き込む

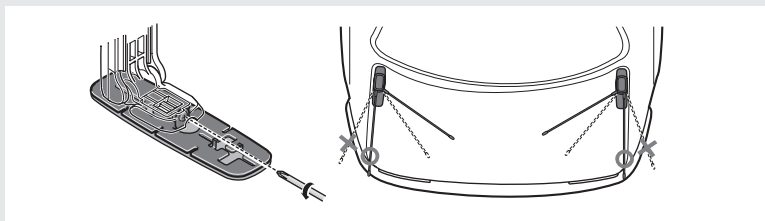
付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。



取り付けかた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースのネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TV アンテナの取り付け

つづき

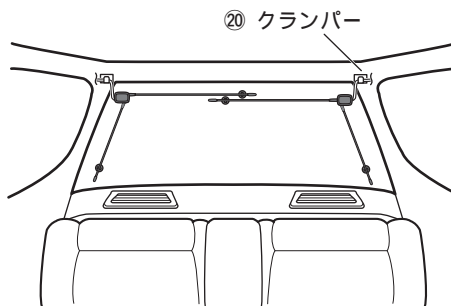
車室内への取り付けかた

電波の弱い地域では車室外に比べ、十分な受信性能を得られません。受信状態の悪い地域では車室外に取り付けてください。

断熱ガラスを使用した車および熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくい種類のものがあり、受信できないことがあります。

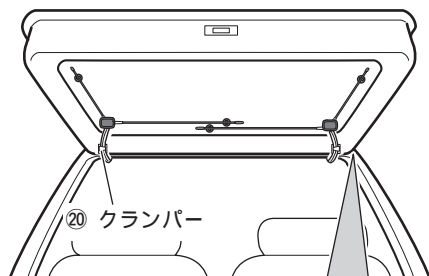
お車のガラス、フィルムの種類をお確かめの上、ご使用ください。

例1：リアーガラス取り付け



アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感が良くなります。

例2：ハッチバックガラス取り付け



ハッチバックウィンドに取り付ける場合は、ハッチバックの開閉の際に、ケーブルが引っ張られたりじゃまにならないように、クランパーを使用して要所を固定してください。

TVアンテナの受信状態をできるだけ良くするために、上図のように、リアー（ハッチバック）ガラスにTVアンテナを下向きに取り付けることをおすすめします。また、できるだけエレメントをのばして取り付けてください。

電波の弱い状況では、テレビ受信時、映像の乱れを生じる場合があります。

車のラジエーターファンのモーターや、ヒーターのモーターなどからノイズが飛び込み、映像が影響を受ける場合があります。

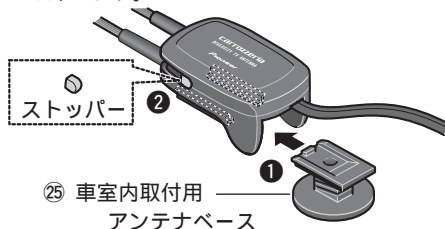
トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、鮮明な映像が得られない場合があります。

車のガラスの大きさや角度により取り付けができない場合があります。アンテナを取り付ける前に確認してください。

取り付けの際は、ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づけすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

1 車室内取付用アンテナベースを取り付ける

アンテナから車室外取付用アンテナベースを取り外し(☞ 31 ページ)、① 車室内取付用のアンテナベースに取り付けます。② ゴムのストッパーを外します。



2 エレメント固定ホルダーをアンテナに取り付ける

各エレメントの先端部にエレメント固定ホルダーを取り付けます。



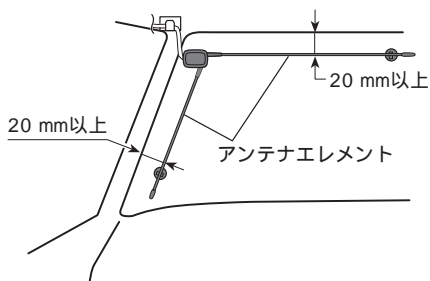
3 クリーナークロスで、汚れ油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



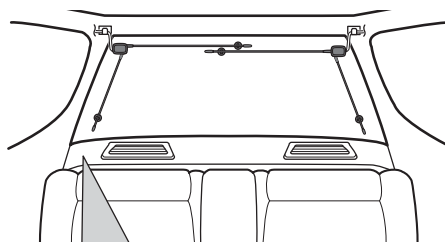
4 アンテナを取り付ける

ガラスの端とアンテナエレメントの間隔が約 20 mm 以上あくようにして、アンテナベース裏面の保護シートをはがし、取り付けます



5 エレメントを固定する

エレメント固定ホルダー裏面の保護シートをはがし、エレメントを固定します。



ガラスの端からアンテナエレメントまでの感覚を 20 mm 以上あけてください。ガラスの端に近づきすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

TV アンテナの取り付け

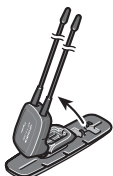
つづき

アンテナの使いかた

1 アンテナを 起こす

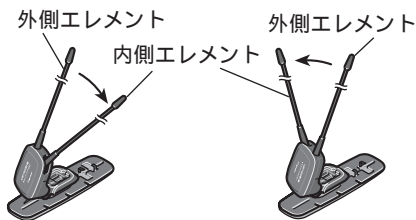


右用



左用

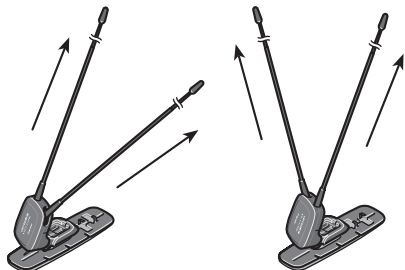
2 内側エレメントを 横にずらす



右用

左用

3 アンテナエレメントを いっぱいのにぼす

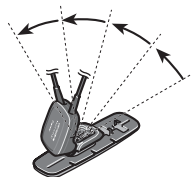


右用

左用

4 アンテナ角度を 調節する

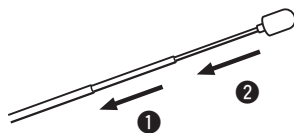
アンテナの角度は、5段階に設定できます。受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納 する際のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。



メモ

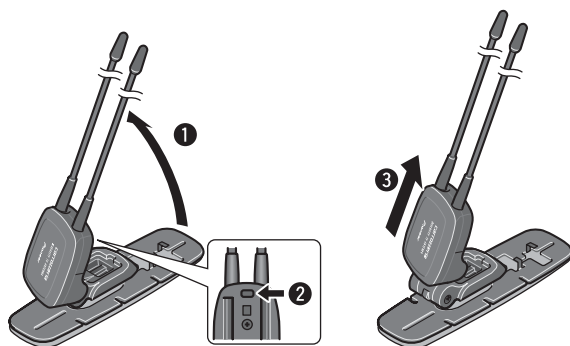
トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、鮮明な映像が得られない場合があります。

アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合は、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

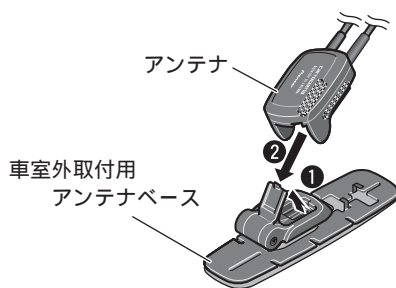
アンテナの外しかた

① アンテナを起こして、② 着脱ボタンを押しながら、③ アンテナを矢印の方向にスライドさせます。



アンテナの取り付けかた

① アンテナベースの取付部を持ち上げて、② アンテナベースの取付部にアンテナの裏側の溝を差し込みます。(“カチッ”と音がすることを確認してください。)



アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品でふかないでください。表面が侵されることがあります。

エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいてください。

アンテナのエレメントにアクセサリなどの飾りを付けしないでください。無理な力をかけると、エレメントが折れ曲がる恐れがあります。

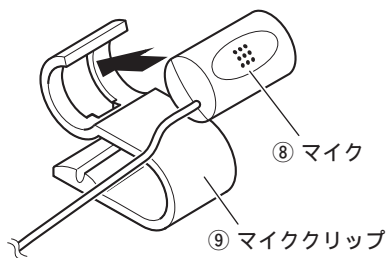
マイクの取り付け

取り付け上のご注意

マイクは、ドライバーの声をなるべく拾いやすい向きや位置に取り付けてください。

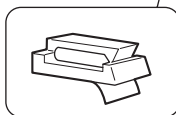
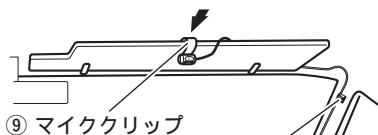
サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップにマイクを取り付ける



2 サンバイザーにマイククリップを取り付ける

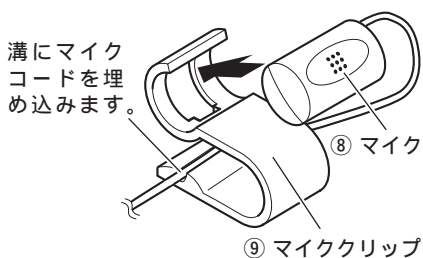
サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識されません。



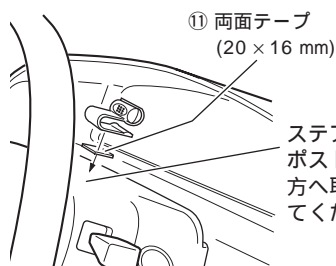
⑫ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。

ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップにマイクを取り付ける



2 ステアリングポストにマイククリップを取り付ける

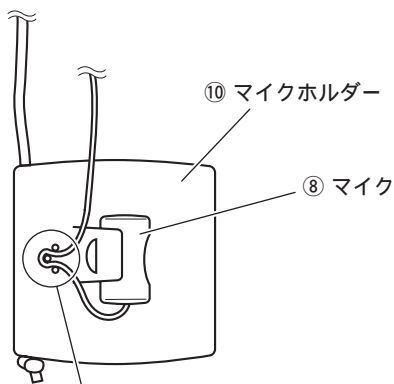


⑫ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。



シートベルトに取り付ける場合

1 マイクホルダーに マイクを取り付ける



マイクコードをこの
ように配線します。

⚠ 警告

シートベルトに取り付けるときの注意

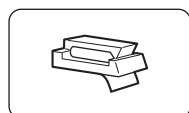


必ず行う

シートベルトにマイクを取り付けるときは、必ず指定の取り付け方法を守ってください。そうしないとシートベルトが正しく機能しなかったり、コードやひもが首などに巻き付いたりして危険です。また、指定の取り付け方法で取り付けたときでもシートベルトの戻りが悪くなったり異常がある場合は、シートベルトには取り付けないでください。

2 シートベルトにマイクホルダーを 取り付ける

シートベルトアンカー



⑫ クランパー×5
クランパーで要所を固定
しながら、マイクコード
を引き回します。

ひもは一度金具から外し、シートベルトアンカーを通してから、また金具に止めます。シートベルトを装着するときにマイクが胸元にくるように、ひもの長さを調節してください。

マイクコード
マイクコードは、ひもが張った状態でも、少したるみができるようにします。

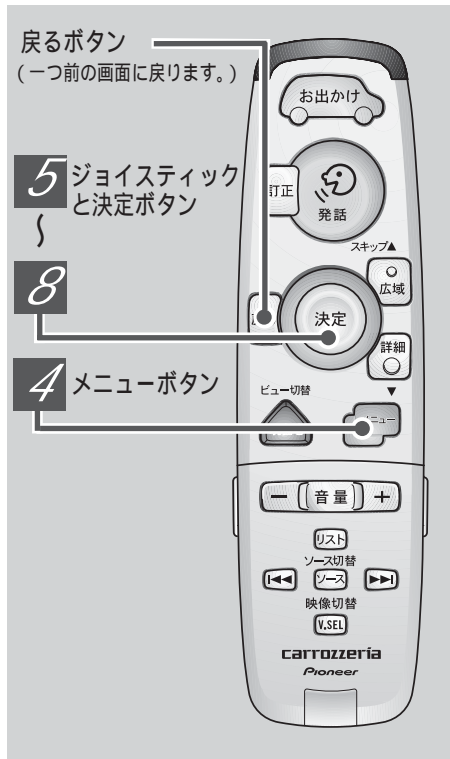
マイクホルダーをシートベルトに取り付けます。

シートベルト

ナビゲーションの接続の確認と

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させてナビゲーションの接続の確認と初期設定、動作確認を必ず行ってください。

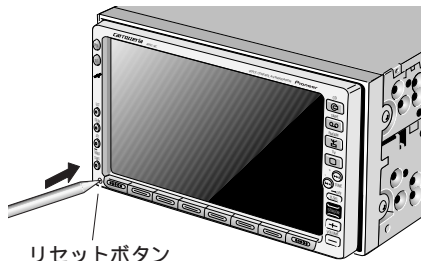
ナビゲーションの接続を確認をする



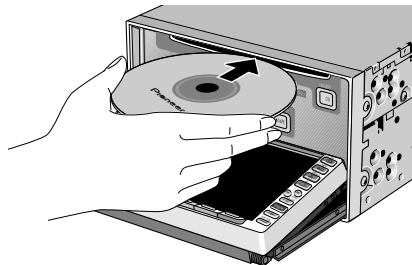
1 車のエンジンをかける



2 ポールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す



3 付属の地図ディスクを、本機にセットする



ジョイスティックの使いかた



8方向(上下・左右・斜め)に動かすとジョイスティックになります。



まっすぐ押すと決定ボタンになります。

フロントパネルを開けてディスクのタイトル面を上にして差し込みます。

ディスクが自動的にセットされますので、地図が表示されるまでしばらくお待ちください。

初期設定、動作確認を行う

4 メニューボタンを押してメインメニュー画面を表示させる



メニューボタンを押す



7 [ハードウェアの調整] を選び、決定ボタンを押す



ジョイスティックを上下に動かして選び、決定ボタンを押す



5 [その他の操作] を選び、決定ボタンを押す



ジョイスティックを上下に動かして選び、決定ボタンを押す



8 [接続確認画面] を選び、決定ボタンを押す



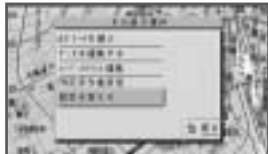
ジョイスティックを上下に動かして選び、決定ボタンを押す



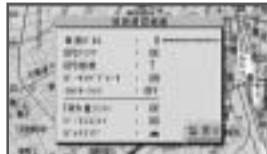
6 [設定を変える] を選び、決定ボタンを押す



ジョイスティックを上下に動かして選び、決定ボタンを押す



9 接続確認画面で接続を確認する



「接続確認画面の見かた」(👉 次ページ)

接続・取り付けが終わったら

ナビゲーションの接続の確認と

つづき

ナビゲーションの接続を確認をする

接続確認画面の見かた

車速パルス：

車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると「ピッ」と発信音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。「ピッ」音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は低速（時速5km程度）で行ってください。

GPS アンテナ：

GPS アンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば「OK」、未接続の場合には「NG」が表示されます。

GPS 感度：

GPS アンテナの受信状態を確認できます。電波を受信しやすい見晴らしの良い場所で2個以上アンテナマークが示されていれば良好です。アンテナマークが1個以下の場合は、GPS アンテナの位置を変えて2個以上アンテナマークが表示される位置に取り付けてください。

パーキングブレーキ：

パーキングブレーキスイッチ（若草色リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると「OFF」、かけ直すと「ON」が表示されます。

イルミネーション：

イルミ電源（橙リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると「ON」、消すと「OFF」が表示されます。

FM 多重ユニット：

VICS/D-GPS/FM 多重チューナー「ND-F3」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば「OK」、未接続の場合には「NG」が表示されます。

ビーコンユニット：

VICS用ビーコン受信機の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば「OK」、未接続の場合には「NG」が表示されます。

バックランプ：

バック信号入力（紫/白リード線）の接続状態を確認できます。パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏んでから次の操作を行ってください。シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると車の絵の向きが左右反転されます。

画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見て確認してください。

初期設定、動作確認を行う

初期設定を行う

1 初期設定画面にする (☞ スタートブック)



2 初期設定を行う (☞ スタートブック)

TV アンテナダイバー、外部映像/音声入力、外部音声入力を設定します。



動作を確認する

動作確認のしかた

オートアンテナ：
ソースをラジオにしたとき、車両のオートアンテナがのびるか確認する。

スピーカー：
音質調整画面を表示させ、フェーダーやバランスの調整を行い前後左右のスピーカーから正しく出力されているか確認する。

組み合わせたソースユニット：
別売のIP-BUS 出力のある製品（例：マルチCD プレーヤー「CDX-P1250」）など組み合わせたソースユニットが動作するか確認する。

『スタートブック』を参照して様々な機能を操作し、本機の動作確認を行ってください。

カーナビゲーションを使い始める前に

必ず、ジャイロセンサーのリセットを行ってください

自転車マークを精度よく地図上に表示させるために、ナビゲーションを使い始める前にジャイロセンサーのリセットを行う必要があります。『ナビゲーションブック』を参照して、必ずジャイロセンサーのリセットを行ってください。

メモ

接続・取り付けが終わったら

メモ
